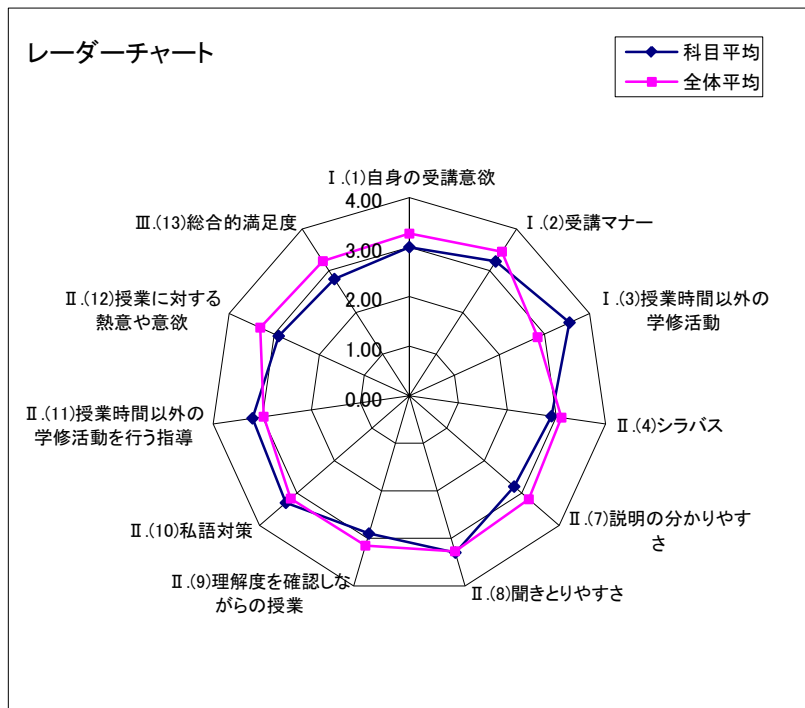
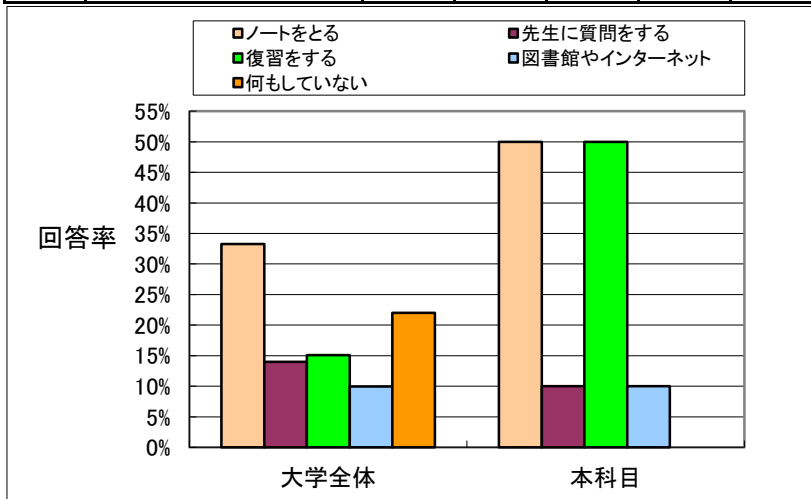


講義科目 授業アンケート結果



※レーダーチャートの平均は4段階評価 4(そう思う)、3(ややそう思う)、2(あまりそう思わない)、1(そう思わない)

設問No.	質問内容	ノートをとる	先生に質問する	復習をする	図書館やインターネット	何もしていない
IV.(14)	授業を理解するための工夫	0.50	0.10	0.50	0.10	0.00



	設問No.	科目平均	全体平均
自身の受講姿勢	I.(1)	3.00	3.27
	I.(2)	3.22	3.46
	I.(3)	3.56	2.85
講義内容・方法	II.(4)	2.90	3.10
	II.(5)		
	II.(6)		
	II.(7)	2.80	3.19
	II.(8)	3.30	3.27
	II.(9)	2.90	3.15
	II.(10)	3.30	3.17
	II.(11)	3.20	2.97
	II.(12)	2.90	3.31
	総合評価	III.(13)	2.80

	本科目平均	全体平均
自身の受講姿勢 I.(1)~(3)	3.26	3.19
講義内容・方法 II.(4)~(12)	3.04	3.17
総合評価 III.(13)	2.80	3.23

アンケート結果に対する教員のフィードバックシート

授業年度	2013年度 前期
時間割番号	2430
科目名	基礎数学Ⅱ
教員名	

①授業計画の達成度について

「基礎数学Ⅱ」は複数講座を統一シラバスで開講し、統一試験で成績評価を行っているところ、アンケート未回答者を含めて、履修登録14名中、合格6名(秀0名・優1名・良2名・可3名)、不合格8名(不可6名・欠課2名)であり、43%しか合格させられませんでした。
アンケート結果によると、設問(5)「この授業は、自分にとって難易度の高い授業であった。」に対する「そう思う+ややそう思う」の割合が40.0%と大学全体の77.7%と比較して低く、逆に設問(6)「この授業は、自分にとって難易度の低い授業であった。」に対する「そう思う+ややそう思う」の割合が60.0%と大学全体の38.1%と比較して高く、少なくともアンケートに回答した受講生にとっての難易度は低かっただけに、残念です。

②授業の進め方について

設問(3)「この授業を理解するために……授業時間以外の学修活動を行っていた。」に対する科目平均が3.56と大学平均の2.85と比較して際立って高く、設問(14)「この授業を理解するためにどのような工夫をしていますか。」に対する「復習をする」の割合が大学全体と比較して際立って高いのは、設問(11)「この授業の先生は……授業時間以外の学修活動を行うよう指導していた。」に対する科目平均が3.20と大学平均の2.97と比較して際立って高いことにも表れているように、授業の進め方についての私の狙いが理解されているものと受け止めております。
また、自由記述の「先生がやさしいです。」「丁寧に教えてもらいました。」も、励みになります。

kono

少なくともアンケートに回答した受講生にとっては、この授業の難易度は他の授業と比較して低めであり、ノートや復習も他の授業と比較して積極的に取り組んでいる様子が伺えます。にもかかわらず、それが単位修得という結果に結び付いていないことが問題と言えます。
「基礎数学Ⅱ」の統一テキストは前半に問題、後半に解答がそれぞれ掲載されており、学生は問題に真剣に取り組むことなく解答を丸写しすることも可能であったことが原因とも考えられます。
対策として、抜き打ちテスト等により学生の理解度を客観的に確認していくことが有効ではないかと思われます。